

SELECTION & SPECIFICATION DATA

一般名	厚膜形無機系ポリシロキサン塗料
塗料のタイプ	ポリシロキサン樹脂、水系
一般特性	高度の耐候性を有する厚膜形ポリシロキサン塗料。水系塗料であり、環境負荷低減タイプである。各種プラント外面、建築構造物、橋梁、海洋構造物、廃水処理施設、その他特に耐候性と光沢の保持が要求される箇所への使用が推奨される。
特長	<ul style="list-style-type: none"> • 超耐候性 • 水系、低汚染性 • 有光沢、二液形 • 耐屈曲性および難燃性に優れる
色相	白、淡彩、各色
仕上げ	グロス
下塗り	カーボガードマイルド など
固形分	容量 35% +/- 2%
固形分	重量 48% +/- 2%
混合物密度	1.19 +/- 0.05 g/cm ³
VOC	供給状態で : 98 g/L

塗装方法	乾燥膜厚 (ミクロン/回)	理論塗付量 (g/m ²)	標準使用量 (g/m ²)*
ハケ・ローラー	40	136	200

*: 標準使用量は、被塗物の形状や塗装する部位、被塗面の表面状態、風速・気温等の環境条件、塗装作業者の技量等、種々の条件によって変化する場合があります。詳細はジャパンカーボライン社まで問い合わせること。

ウェット/ドライ比	2.86 (無希釈)
タレ限界膜厚	50 ミクロン (ドライ)
耐熱性	連続: 93°C (199°F) 断続: 121°C (250°F)
注意点	浸漬される箇所には推奨されない。

下地処理

一般	通常、エポキシ系プライマーまたは中塗り塗膜の上に塗装する。被塗面は清浄で乾燥していること。被塗面に付着している油、グリース、汚れ等を溶剤を用いて拭き取る。
-----------	---

混合および希釈

混合	<p>基剤と硬化剤を混合し、均一になるまで動力攪拌する。</p> <p>基剤、硬化剤は全量混合することを原則とするが、やむを得ず小分けして使用する場合には、基剤と硬化剤をそれぞれ均一になるように攪拌し、その後正確に秤量し使用する。</p>
-----------	---

シロキサンエースHBW

製品データシート



混合および希釈

希釈	清浄な飲用水を用いて、重量比で5% まで希釈する場合もある。 ジャパンカーボライン社が推奨、供給する以外のシンナーを用いた場合は、塗料の性能に悪影響を与える恐れがある。
混合比	基剤：硬化剤 = 15：1 (重量比)
可使時間	5°C: 8 時間 10°C: 6 時間 20°C: 4 時間 30°C: 3 時間

塗装機器に関する指針

以下は、本製品を塗装する場合の塗装機器に関する一般的な指針である。塗装現場の状況によっては、望ましい結果を得るためにはこれらの指針の変更が必要な場合もある。

塗装機器 | ハケ、ローラー

塗装条件

条件	被塗面温度	気温	湿度
最低	5°C (41°F)	5°C (41°F)	0%
最高	50°C (122°F)	35°C (95°F)	85%

硬化条件

被塗面温度	硬化	最大塗り重ね可能時間	最小塗り重ね可能時間
5°C (41°F)	72 時間	7 日	4 時間
10°C (50°F)	48 時間	7 日	4 時間
20°C (68°F)	24 時間	5 日	2 時間
30°C (86°F)	24 時間	5 日	2 時間

上表は、乾燥膜厚40 ミクロンの場合である。厚膜・換気不足・低温等の条件では乾燥時間が長くなり、溶剤の閉じ込めや早期の不具合が発生する可能性がある。

荷姿、取扱および保管

保存可能期間 | 製造後6 ヶ月 (未開封の場合)

保管条件 | 屋内に保管すること。

正味重量	16 kg セット
基剤	15 kg
硬化剤	1 kg

荷姿、取扱および保管

	引火点 (°C)	有機則区分	危険物分類
基剤	-	-	-
硬化剤	95	-	4 類3 石 非水溶性液体

* 安全情報に関する詳細は、安全データシート (SDS) をご参照ください。

更新情報

最終更新 | 2022 年7 月

管理番号 | PDS060-012

付記事項

当社が知る限り、本資料に含まれる技術データは正確ですが、予告なく変更される場合があります。特に記載がない限り、本資料に含まれる製品名・社名はカーボライン社の登録商標です。安全に関する情報の詳細については、SDSをご参照ください。